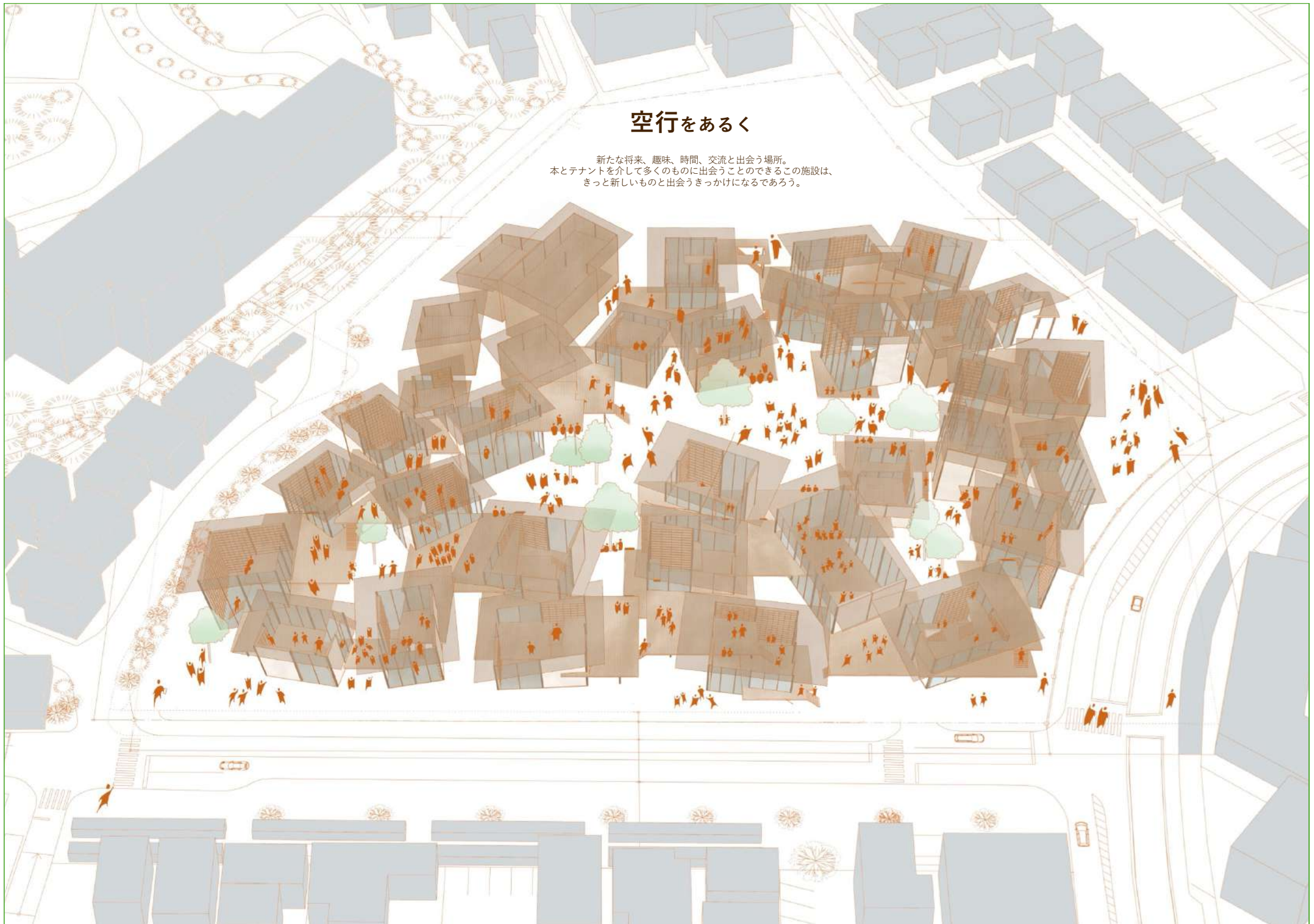


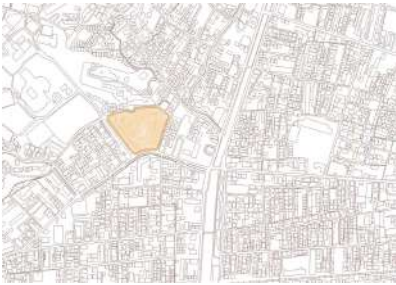
空行をあらく

新たな将来、趣味、時間、交流と出会う場所。
本とテナントを介して多くのものに会うことのできるこの施設は、
きっと新しいものと出会うきっかけになるであろう。



00.敷地

広島工業大学の正門付近に位置する。
広島市のベッドタウンとして古くから栄えてきたこの街。
周辺には幼稚園や学校の多くの教育機関や住宅街が立ち並び、コイン通りも近く**小売店が多く**ある。
都市計画道路によってさらなる発展が見込まれる。



01.提案

本とテナントを介して、
人々に**出会いや発見の場**を提供する。
設けたテナントでショップやバザーを催し、
そして入ったショップと本のジャンルをリンクさせる。



八百屋で
農業や植物、気象の本とリンク



お花屋さんで
園芸やプレゼント、花言葉とリンク



パン屋で
ごはんや発酵、歴史とリンク

02.背景

デジタル社会となり**本離れ**が進む近年。



本目的ではなくテナント目的で来館してくれた人々に、**テナントを介して本に興味を持ってもらう。**

好奇心 ⇒ 読書 ⇒ 経験体験 ⇒ さらに興味を ⇒

この**サイクル**を踏む。

老若男女それぞれが**新たな将来、趣味、時間、交流と出会う**ことができる。

都市開発道路によってさらなる発展と来客が見込める。

この敷地に出店することで、現在集客が満足に得ていない小売店の顧客を確保するきっかけとなる。
→周辺地域の活性化につながる。

- ・メインとなるコイン通りから外れている。
- ・駅が遠い。
- ・決まったご近所さんしかお客として訪れにくい。

設計概要

敷地場所：広島市佐伯区三宅3丁目
用途地域：第一種中高層住宅地域
防火地域：法22条区域
敷地面積：9,073.00㎡
建蔽率：60%以下
容積率：200%以下
道路：東側4.6m（都市計画道路21m）
西側29m（広工大アプローチ）
南側12m
北側6m
用途：図書館、テナント
構造：鉄骨造、木造
階数：地上1～4階建て
建築面積：3497㎡
延床面積：8462㎡（屋外スラブの延床面積：4932㎡）
建蔽率：38.5%
容積率：93.3%

1:500 配置図

敷地 図 A2 (アプローチャイコ)

広島工業大学 環境学部建築デザイン学科



03.テナントのオーナーが各棟をプロデュース



テナントのオーナーが各棟内をプロデュース。
テナントとリンクさせた本や、自分自身が影響を受けた本、
好きな世界などの本が置かれている。

オーナーが各棟それぞれ異なる世界を提供。

ここは和菓子の棟であり、隣にはおにぎりの棟がある。
店内には和の本を手に入る人や、
おにぎりの本を持っている人、
お団子とおにぎりを食べている人がいる。

04.よみしろ



空行：複数行の文字データの中で、改行があり何の文字も含まない行。

空行はほとんどの本に見られる。

- ・場面転換
- ・感情の"間"をつくる
- ・読者の意識をリセットさせる
- ・言葉にならない感情を表現 ...

空行には様々な役割があり、空間に 空行 のような空間（＝よみしろ）を設けることで、
来館者のコミュニティが広まり、そこは語らいの場となる。

明確に「ここがとみしろ」という空間は設けていない。だが、

- ・本やテナント
- ・それらが収められている棟の間

で生まれる交流地点の点である。
本、テナント、棟がよみしろにより混ざり合うことでさらに多くの世界を知れる。⇒発見につながる。

スラブや軒下、スラブ下などが具体的なよみしろとして働くであろう。



片流れの屋根と垂木は人の流れや広がる方面に向かい開く。
BOX内はワンルーム構成。
リンクされた本とテナントが1つの空間に感じられるように。

パン屋とラーメン屋の棟を繋ぐスラブの上では
パンとラーメンを持ち寄った食事会。

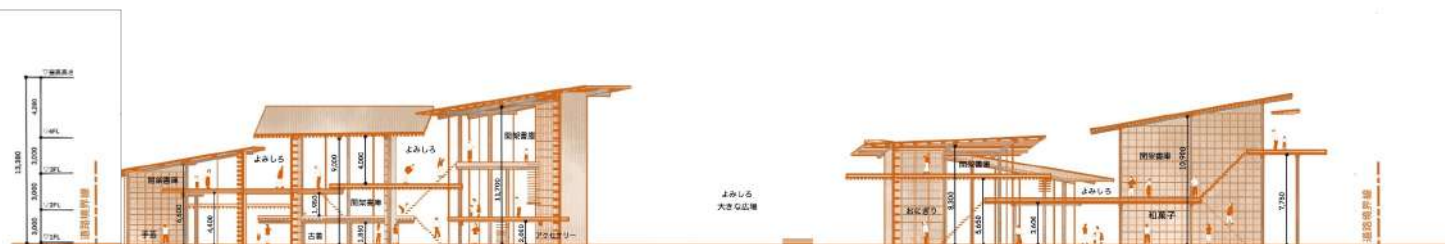


鉄骨と木造の混構造。
構造部分を表に出すことによって、人間味ある建築に。
浮き床となっている部分もあり、空間の自由度を高める。



スラブの高さで空間の使い方や雰囲気操作。
腰掛けるスラブや10m以上の吹き抜け空間がある。

奥にはレクチャールームがあり、スラブは観覧の場にもなる。



上：南西断面図 1：300

下：南東断面図 1：300

05.地域の複合施設

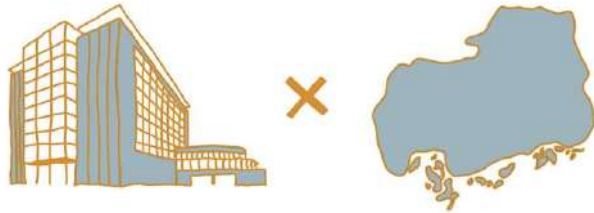
小売店がテナントとして出店することで五日市の活性化。
住民も多く、パザーも行える。同じものが好きな人、新たな人との出会いも生まれ、地域交流にも。

06.大学の複合施設

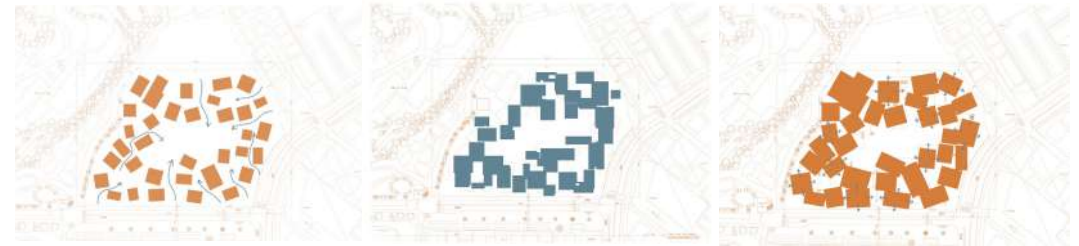
地域との交流が盛んにある施設となっている。各テナントの棟は必ずしもショップとは限らない。
大学にある各11学科の作品・学びの出張や、レクチャールームでは常に大学を発信。
出会う世界の中には大学で学ぶことのできる分野も含まれている。

07.教育機関

将来の目標を見つけるきっかけになったりする。
広工大は広島県と人材を県内に残す提携を結んでいる。地域密着型での後継者教育の一環となる。



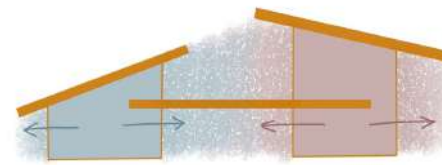
08.人を導く



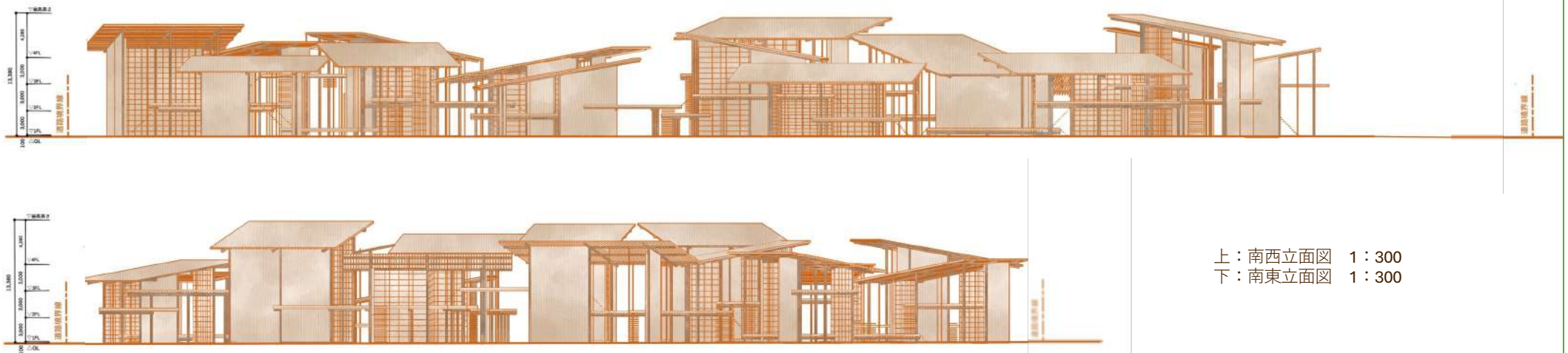
①BOXで各棟と道を作る。
BOXを振ることで
イレギュラーな出会いを誘発。

②スラブでBOXを繋げる。
グリッド式で配置することでサイン性を持たせる。
スラブをつたうことで、
BOXを一周でき敷地の内外を繋ぐ。

③屋根で領域をにじみさせる。



棟の中の世界が軒下ににじみ、それがスラブに広がっていく。
各広がる世界は混ざり合い、ゆたかなよみしろは生まれる。



上：南西立面図 1：300
下：南東立面図 1：300



